

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	すまいる安堂寺町教室		
○保護者評価実施期間	2024年 10月 1日		2024年 11月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32	(回答者数) 23
○従業者評価実施期間	2024年 10月 1日		2024年 11月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 5日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日々の集団活動 (SST、療育、ビジョントレーニング、ムーブメント、感覚統合など)	集団活動は、その日来所する子どもに合わせて決めている。学習支援は、個別に合わせた教材の選択、学校からの宿題を来所時に終わらせる工夫	ミーティングなどにより個別の支援内容の指導の強化。 集団活動に参加できていない子どもも参加できるような活動を考える。
2	季節のイベントなどを取り入れ、子ども達が楽しくすごしていけるようにしている。	いろいろな活動を取り入れるよう職員間で話し合い、その内容を保護者様にもくわしく伝えるようにしている。	子ども達や保護者様の様子や意見も取り入れ、イベント活動を検討していく。
3	職員同士のコミュニケーションが活発であり、事業所の雰囲気向上が図られている。	子ども達に関する話し合いを常時しており、本人主体の支援を意識的に行っている。	職員向けの研修などを積極的に取り組み、一人ひとりの資質向上などのスキルアップにつなげていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	学校や併用事業所との連携ができていない所と、あまりできていない所がある。 共通理解をして対応していくこと。	どの学校や事業所ともより連携を行い、共有できる場があるといい。	会議などを行い連携を深めていく。
2	勤務時間の少ない職員のスキルアップ	職員に対して丁寧に対応しているが、時間がたりない。	スキルアップの為の時間を設ける。
3	様々な教材等があるが、各職員がすべてを把握できているものと、できていないものがある。	職員全員がどの教材も把握できているとよい。	マニュアルの作成、研修の実施など。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 すまいる安堂寺町教室

公表日 2025年 2月 5日

利用児童数

32名

回収数

23名

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	22名			1名		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	18名			5名		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19名			4名		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	20名	1名		2名		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20名	2名		1名		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18名	1名		4名		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画や放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	19名	1名		3名		
	8	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18名			5名		
	9	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）に沿った支援が行われていると思いますか。	19名	1名		3名		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	22名			1名		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	2名	1名	7名	12名		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	22名			1名		
	13	「児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17名	2名		4名		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4名	2名	8名	9名		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態について共通理解ができていますか。	23名					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14名	6名	1名	2名		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20名	1名		1名		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2名	3名	10名	8名		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19名	1名		3名		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	23名				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	19名		4名		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18名	2名		3名	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13名		2名	8名	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10名		2名	11名	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16名			7名	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15名	2名		6名	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	23名				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	22名	1名			
	29	事業所の支援に満足していますか。	22名	1名			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 すまいる安堂寺町教室

公表日 2025年2月5日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3名	1名	広い施設を有効に使い、カーテンやパーテーションも利用し、感染症対策と、学習スペース、活動スペース共に十分な広さを確保できています。	引き続き状況を見ながら、利用者様それぞれに合ったスペースを確保していきます。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4名		法令に基づいて資格保持者等適切に配置し、ご利用人数に応じて十分な職員の配置を行っています。	今後も十分な職員を配置し、より良い支援を行っていきます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3名	1名	視覚的にわかりやすく、イラストやスケジュールボードを用いた対策をしています。トイレ内に手すりを設置し、事業所内はすべて段差がない構造になっています。	今後も必要に応じて設備整備を考え、チャイルドガードなどの道具も取り入れつつ、安全面に配慮していきたいと思います。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4名		清掃、用具の消毒をこまめに行い、常時換気、空気清浄機を使用し空調の清潔を保ち、子どもたちの活動に合わせ過ごしやすい空間になるよう配慮しています。	今後も徹底して行っていきます。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2名	2名	パーテーションで仕切るなど工夫して対応しています。	落ち着いたスペースを確保できるように、個室の部屋を検討する。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2名	2名	定期的ミーティングを行い、職員間の連絡ノートを活用し、随時意見交換を行っております。	ミーティングなど意見を出し合う機会を今後も増やしていきたいです。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3名	1名	保護者向けアンケートを行い、その内容について業務改善につながるよう職員で話し合いをし、対応しています。	今後も継続して行っていきます。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4名		職員向けアンケートを行い、その内容について業務改善につながるよう職員で話し合いをし、対応しています。	今後も継続して行っていきます。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4名	現在は第三者による外部評価を行っておりませんが、今後検討してまいります。	専門機関の利用など、今後検討してまいります。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4名		外部研修への参加を積極的に行い、内部では職員向け教材を提供し、職員の資質の向上を目指しています。	今後も職員全員のスキルアップを目指していきます。
適切な支援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4名		適切に支援プログラムを作成し、ホームページに公表しています。	今後も継続して行っていきます。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成しているか。	4名		定期的に保護者様と面談などを行い、状態や環境の変化の聞き取りをした上で、ニーズを把握し、職員の意見を取り入れ一人一人アセスメントを適切に行い、支援計画の作成をしています。	今後も丁寧に行っていきます。
	13 児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4名		ミーティングなどで情報共有し、意見を出し合い、本人中心支援を心がけています。	今後も丁寧に行っていきます。
	14 児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3名	1名	どの職員が対応しても利用者様に合った支援計画に沿った支援の実施ができるように、職員全員に周知、指導をしています。	今後も管理者指導の下、職員全員で支援内容を確認し、適切な支援を行っていきます。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3名	1名	定期的に保護者様と面談などを行い、状態や環境の変化の聞き取りをした上で、ニーズを把握し、職員の意見を取り入れ一人一人アセスメントを適切に行い、支援計画の作成をしています。	今後も丁寧に行っていきます。
	16 児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)には、児童発達支援(放課後等デイサービス)ガイドラインの「児童発達支援(放課後等デイサービス)の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4名		ねらい、具体的な支援内容をそれぞれ適切に設定し、作成しています。	今後も丁寧に行っていきます。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4名		職員全体が意見を出し合い、専門職の意見を取り入れ、利用者様の特性に見合った活動プログラムの立案、実施をしています。	日々職員同士でコミュニケーションをとり、チームワークを高め、より充実した活動プログラムを立案し、実施していきます。

の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4名		子どもたちの意見も取り入れながら、季節やイベントの活動を取り入れ、月間予定を立てています。	状況に応じた活動プログラムを構成し、実施していきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成し、支援が行われているか。	4名		個別活動と集団活動両方の視点から、お子様の状況に応じて、見直し、検討し、計画の作成を行っています。	今後も丁寧に行っていきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3名	1名	一日の支援内容、スケジュールなど職員間で確認し、またプログラム、役割分担を表にし、所定の位置に置きいつでも確認できる。	今後も徹底していきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3名	1名	支援終了後に振り返りと職員間の意見交換を行い支援記録、日誌にて共有できるようにしています。	今後も共有できる環境を作っていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3名	1名	日々支援記録、連絡帳などを記録、保管し、支援の検証、改善に活用しています。	今後も日々の正確な記録を徹底していきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4名		定期的なモニタリングを実施し、支援計画の見直しをしています。	今後も定期的に行っていきます。
	24	【放デイのみ】 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	4名		基本活動を組み合わせ、子ども一人ひとりの特性や状況に応じて柔軟に計画し、支援を行っています。	今後も丁寧に計画し、行っていきます。
	25	【放デイのみ】 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を促すための支援を行っているか。	3名	1名	子どもが自己決定力を身に付け、自分の意志で行動できるようになることを目指した支援を行っています。	今後も丁寧に計画し、行っていきます。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3名	1名	可能な限り参加させていただいており、職員全員へ情報共有しています。	今後も行っていきます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3名	1名	必要な関係機関とは、連携をしています。	今後必要な時には各機関と連携できるように体制を整えます。
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3名	1名	機会があれば参加しています。	今後も積極的に参加し、情報共有していきます。
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		4名	野外活動や公園の利用などで交流することがあります。	今後保護者様やお子様のご希望があれば、交流できる場を広げていきたいと思っております。
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4名		日々の連絡帳や送迎時に利用状況を説明する中でお子様の状況について情報共有をしています。随時個別相談を受け付けております。	今後も日頃から情報共有できるように対応していきます。必要に応じて個別相談を実施していきます。
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1名	3名	特別な機会を設けていませんが、保護者様からのご相談に丁寧な対応を心がけており、ご家庭での取り組みなどのご提案をしております。	必要に応じて個別相談を実施していきます。
	32	【児発事業所・児発センターのみ】 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				
	33	【児発事業所・児発センターのみ】 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				
	34	【児発センターのみ】 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	35	【児発センターのみ】 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
36	【児発センターのみ】 (自立支援)協議会・こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
37	【放デイのみ】 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3名	1名	メールや電話、会議などを通じて情報共有、連絡調整を行い、必要に応じて参照できるようにしています。	今後も適切に行っていきます。	
38	【放デイのみ】 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		4名		必要に応じて情報の共有を行っています。	今後も積極的に対応してまいります。

	39	【放デイのみ】学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4名	今現在該当するお子様は通所されていません。	今後必要な時には十分な情報提供を行います。	
	40	【放デイのみ】（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4名	機会があれば参加するようにしています。	今後も行っていきます。	
保護者への説明等	41	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4名	契約時に重要事項説明書を書面で見頂くとともに責任者より説明を通してお伝えし、質問や疑問があればお答えしております。	今後も丁寧な説明につとめていきます。	
	42	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4名	定期的に保護者様との面談を行い、子どものニーズや希望を直接聞く機会を設けています。	今後も行っていきます。	
	43	「児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4名	保護者様との面談時にお伝えしております。	今後も丁寧な説明につとめていきます。	
	44	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4名	随時子育てのお悩みやご相談に丁寧な対応を心がけております。	随時、必要に応じ個別相談を実施してまいります。	
	45	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4名	現状日程の調整が難しく、特別な機会を設けられておりません。	今後検討してまいります。	
	46	こどもや保護者からの相談や苦情、申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や苦情、申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4名	苦情があった際は、その都度迅速かつ適切に対応させていただいております。	今後も迅速かつ適切に対応してまいります。	
	47	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4名	毎月のおたより発行、ホームページやブログを活用し情報を発信しています。	今後も工夫して発信してまいります。	
	48	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4名	全職入社時に秘密保持についての契約書を交わし、個人情報記載書類は厳重に注意し管理しております。破棄するときはシュレッダーを使っております。	今後も厳重に注意して対応してまいります。	
	49	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4名	状況に応じて個別で話を伺い、考慮し実施しています。	今後も工夫してより細やかな配慮を行ってまいります。	
	50	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4名	時期に応じた行事を実施しているが、プライバシー保護を希望される利用者様も居られる為、招待などはひかえています。	前向きに考えてまいります。	
51	【放デイのみ】家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4名	随時子育てのお悩みやご相談に丁寧な対応を心がけております。	随時、必要に応じ個別相談を実施してまいります。		
非常時等の対応	52	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3名	1名	各マニュアルを作成しファイリング、閲覧できるようにし、全職員への周知徹底をしています。	家族などへの周知ができていない事柄もあるので、見直しを行うと共に訓練の実施を行ってまいります。
	53	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4名		業務継続計画（BCP）を作成し、定期的に各種訓練を実施しております。	今後も避難訓練などを通じて迅速な対応が行えるよう意識を高めてまいります。
	54	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4名		保護者様に聞き取りを行い、職員全員が周知徹底し適切な対応を行っています。	今後も行っていきます。
	55	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4名		契約時に保護者様に聞き取りを行い情報を収集しています。また職員全員が周知徹底し適切な対応を行っています。	目の届くところに掲示し、今後も適切な対応を行います。
	56	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4名		安全計画を作成し、安全面を常に意識して支援を行っています。	必要な研修や訓練を行ってまいります。
	57	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3名	1名	連絡ノートやSNSを通じて取組の周知を行っています。	今後も行っていきます。
	58	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4名		ヒヤリハット事例があれば報告書ファイルを作成し職員間で話し合い、共有しています。	今後も常に意識付けし、小さな事でも丁寧に、すぐに改善できるように努めてまいります。
	59	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4名		虐待防止について研修を実施しており、外部研修へも積極的に受講しています。	今後も研修などを行い、職員の意識を高めたいと思います。

60	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4名		「身体拘束を行わない」という方針のもと専門性の向上につとめています。現在のところ該当者はいません。	今後必要に応じて対応してまいります。
----	--	----	--	---	--------------------